

(別紙様式)

# 平成27年度 赤穂市学校評価報告書

学校名	赤穂市立有年小学校
-----	-----------

## 1 本年度の学校経営方針

学校教育目標「夢をもち、地域を誇りにして生き生きと学ぶ児童の育成」

- ・夢をもち、その実現のために自立して学ぶ学校づくり
- ・「確かな学力・豊かな心・健やかな体」を育成する学校づくり
- ・地域のよさを知り教育資源を生かした特色ある学習の充実

## 2 本年度の学校重点目標

第三者委員会の最終提言を学校経営に生かし、人権尊重の精神を基盤に、子供達が「わかった できた」と進んで学ぶ授業を創造し、確かな学力と自己表現力をつけ、夢や目標をもって努力する児童を育成する。

- (1) 「生きる力」を支える確かな学力の向上  
基礎学力の定着を図る。学習習慣の定着を図る。教師の授業力を向上させる。
- (2) 互いを思いやり、命や人権を大切にす豊かな心の育成  
個々のニーズに応じた指導や支援の充実した特別支援教育を推進する。開発的生徒指導を進める。有年小学校いじめ防止基本方針に則っていじめ問題の対応をする。道徳や系統的な体験活動の充実を図る。
- (3) 健やかな心と身体を培う健康教育と安全教育の推進  
基本的学習習慣の定着と体力づくりを進める。児童の心身の的確な状況把握と対応に努め、健康・安全の意識を高める。
- (4) 幼小・小小・小中連携教育の推進
- (5) 保護者・地域との連携の充実と学校組織体制の活性化

## 総合的な学校関係者評価

- ・児童数が減る中、どの自治会においても少子高齢化の傾向が顕著である。西有年では、恒例の春の運動会を中止し、夏休みに三世代交流事業を開催した。依然として祭りや獅子舞の後継者不足が深刻化し、地域の伝統の継承が難しくなっている。はりま台においては、地蔵盆ととんどが自治会と子ども会の貴重な接点となっている。東有年においても似た傾向にあり、老人会の平均年齢が75歳となった。このような地域実態を踏まえ、学校経営の方向性や地域連携の在り方をともに考えていきたい。
- ・地域団体連絡会議、オープンスクール、評議員会等を、学校からの発信や学校への情報提供の場とすることが可能である。
- ・学校自己評価については、その内容および改善方法ともに適切である。児童は学年を超えて仲がよく、まとまりのある集団となっており、少人数ならではの有年小学校としての一体感が随所に感じられる。それと同時に、切磋琢磨の精神を身につけさせることも必要であり、意図的な教育実践が求められる。
- ・連携はまず参加することから。地域、学校を問わず行事への積極的な参加を一層呼びかけていくことを今後も大切にしたい。
- ・防災教育については、今年度、防災運動会として、実施種目に防災訓練を取り入れた。また、保護者参加型の授業を実施し、保護者への防災意識を高める取組も行われた。今後も地域コミュニティの一体感を育む教育を推進してほしい。

## 学校関係者評価

◎：適切である ○：ほぼ適切である △：あまり適切でない ×：適切でない

## 3 自己評価結果 (A～D) A：達成した B：ほぼ達成した C：あまり達成できなかった D：達成できなかった

観点 (重点目標)	評価項目 (学校・教師の取組) 評価指標および目標値 (期待される姿)	評価資料	達成状況	改善の方策
開かれた学校づくり (家庭・地域との連携)	項目 家庭や地域への情報発信を効果的に行う。 指標 学校や学級の教育活動が、学校通信、学年だより、学校HP等により家庭・地域に理解されている。	教職員・保護者アンケート 学校評議員会記録	A	・教育活動紹介や家庭・地域との連携啓発を意識した情報を意図的に発信する。 (学校だより、学年通信、保健だより、ホームページ等) ・情報収集の具体的方策を練る。 (連絡帳・本読み表の活用、家庭訪問。自治会等の地域団体との情報交換。)
	項目 住民参加の地域の特色を生かした教育活動を工夫する。 指標 家庭や地域住民の来校・参加の機会を意図的に設けている。	教職員アンケート		
	項目 保護者とのコミュニケーションを密にし、信頼関係を築く。 指標 連絡のつきにくい保護者とも積極的に連絡を取っている。	教職員・保護者アンケート		
	項目 学校評議員制度等を活用してよりよい学校経営を図っている。 指標 学校評議員会を適切に開催し、授業参観・行事・オープンスクールにも参加を得て、学校経営に生かしている。	教職員・保護者アンケート 学校評議員会記録		
	項目 学校施設を地域に開放している。 指標 学校施設を、地域やスポーツ少年団、スポーツクラブ 21等に開放している。	教職員・保護者アンケート 学校評議員会記録		
生徒指導	項目 好ましい人間関係と豊かな集団生活が営まれる学校づくりに努める。 指標 好ましい人間関係づくり・豊かな集団生活づくりに向けて適時性のある指導を行っている。	教職員・児童・保護者アンケート 行動観察	A	・全教職員の共通理解のもと、共感的内面理解に基づいた、意図的、計画的、組織的な生徒指導を行う。(各種生徒指導関連委員会、ブロック朝会の開催) ・いじめアンケートの定期的実施や欠席児童への連絡など、実態把握と早期対応を行う。
	項目 ※どの児童にも学校に居場所をつくる。 指標 良いところを認め合う仲間作りと、学ぶ喜びを感じられる授業づくりをしている。	教職員・児童・保護者アンケート 行動観察		
	項目 ※生徒指導方針の確認と指導体制の確立を図る。 指標 生徒指導方針や問題行動対応のマニュアルを作成し、組織体制の確立を図っている。	教職員・児童・保護者アンケート 校内委員会記録		
	項目 ※いじめ・不登校・非行問題は「兆し」のうちに解決する。 指標 職員や保護者と協力し、初期対応し、早期解決に努めている。	教職員・児童・保護者アンケート 行動観察		
危機管理体制の整備	項目 実効ある学校マニュアルを策定する。 指標 防災計画や危機管理対応マニュアルを策定し、研修・訓練をしている。	教職員・児童・保護者アンケート 行動観察	A	・様々な危機事例をもとに、学校マニュアルの見直しや研修を継続する。 ・見守り隊や地域団体との情報連
	項目 家庭・地域と連携して児童の安心安全を確保する。 指標 学校と家庭が連携して防災意識を高め、安全意識の向上に努めている。	教職員・児童・保護者アンケート 行動観察		

自己評価は適切か	改善方策は適切か	課題と来年度具体的改善方法
◎	◎	・休み時間に児童と過ごしたり、連絡帳・本読み表の活用や家庭訪問をしたりして、児童・保護者とのコミュニケーションが途切れないう、意思疎通を図る。 ・オープンスクールや地域団体行事等、地域との交流時を利用して情報交換を行う。 ・登下校指導時を利用し、地域住民に積極的に声をかけ、「有年小の〇〇先生」と顔と名前を覚えてもらう。 ・ボランティアの活用のため、引き続き募集アンケート、名簿づくりに取り組み、地域力を生かしてほしい。
◎	◎	・意図的に自治的・自主的活動を仕組み、児童自身が問題に気付き、解決に向け考えていく力を育てる。 ・休み時間に児童と遊ぶ、日常的に保護者とコミュニケーションを図ることで、「兆し」に気付く体制を整える。 ・児童を全教職員の目で見守り、小さな変化も報告・連絡・相談を行う。 ・いじめに対しては、いじめられた側の立場に立ち、毅然と指導していく。
◎	◎	・有年中学校区地域見守り隊「マモルンジャー」をはじめ、各自治会との情報連携を深める。 ・児童及びPTAの安全意識を高めるため、校内安全点検や施設点検などの取組を継続していく。

	項目 指標	児童に対する安全意識・防犯意識の充実を図る。 避難訓練や学級指導を充実させたり、児童への安全意識や防犯意識を高めたりしている。	教職員・児童・保護者アンケート 行動観察		携を密にする。 ・安全点検を定期的及び随時実施する。 ・防災訓練を定期的実施する。			・本年度、清掃時間の地震発生を設定した訓練を実施したように、毎回テーマをもった避難訓練を継続していくとよい。
	項目 指標	安全点検を徹底し、施設設備の安全を確保する。 安全点検が確実に実施され、宮修繕が各担当より計画的に進んでいる。	教職員・児童・保護者アンケート 安全点検表					
教職員の資 質向上	項目 指標	教育の専門家としての実践的指導力の向上に努める。 実践的指導力向上させるための校内研修・OJT が適切に実施されている。	教職員アンケート 校内研修記録	A	・業務改善を進め、研修を充実させる。 ・地域住民との挨拶の励行、適切な服装、名札の着用、接遇などの見える化によって自律的な改善を進める。	◎	◎	・管理職の指導の下、校内研修をより充実させ、子どもも教職員も笑顔で生き生きと教育活動を展開できるよう引き続き取り組んでほしい。 ・校舎内外、公私の場面等にけじめとメリハリをつけ、服装や言動に気をつけ、信頼される教職員であってほしい。
	項目 指標	教育公務員としての使命感を自覚する。 服務規律を守り、互いに笑顔で積極的に勤務している。	教職員アンケート 行動観察					
	項目 指標	家庭や地域社会との円滑な関係を構築する。 家庭や地域の信頼を得ようと心がけている。	教職員・児童・保護者アンケート 学校評議員会記録					
協働体制	項目 指標	各分掌に責任を持って取り組み、校務を改善する。 自立して校務を停滞なく進めている。	教職員アンケート 行動観察	A	・OJT を一層促進し、若手教員の育成を図る。 (ブロック研究会の充実、日常的な情報交流)	◎	◎	・「チーム有年」として、引き続き、担当者だけではなく全教職員で協力しながら教育を進め、組織的によりよい学校づくりを進めてほしい。
	項目 指標	協働し、組織的に校務の遂行に取り組む。 各分掌に責任を持って取り組み、校務を改善する。	教職員アンケート 行動観察					
校種間連携	項目 指標	異校種との連携体制の確立を図る。 連携カリキュラムの作成に取り組んでいる。	教職員アンケート 行動観察	A	・担当者を中心に、校種間で情報を交流する機会を増やす。 ・連携教育活動後、その成果と課題を全教職員で共有する。	◎	◎	・幼小合同運動会の実施が定着した。今後も地域が参加できる大きな行事として取り組んでいく。 ・小小連携では、第1回合同マラソン大会を実施し、地域・保護者の声援が児童への励みとなっていた。
	項目 指標	学びの連続性をふまえた指導に努めている 幼小・小小・小中連携教育活動に取り組んでいる。	教職員アンケート 行動観察					
自ら学び自 ら考える力 の育成	項目 指標	学びの場にふさわしい環境づくりに努める。 学級の中で、豊かな友人関係を育み、達成感や喜びを共有し、安心して学べるように努めている。	教職員・児童・保護者アンケート 学級経営報告	A	・めあてとふりかえりを授業に組み込み、見通しを持たせる。 ・発問の工夫、「伝える・聞いて考える」といった思考をつなげ考えを深める授業の研究を行う。 ・授業交流を日常化する。	◎	◎	・教室や校内が整えられ、安心して学ぶことができる環境ができていますので継続する。 ・友達と自然に考えを交流し、子供が大きな声で発表したり、うなずいて聞いたりして、生き生きと学習しているのがよい。
	項目 指標	主体的に学ぼうとする意欲関心を高める学習活動を工夫する。 学習課題について自ら考え、主体的に学ぼうとする意欲や関心を高めている。	教職員・児童・保護者アンケート 行動観察					
	項目 指標	有年小学校のスタンダードな授業を実践する。 めあてからまとめまでの見通しのある授業作りに努める。	教職員アンケート 行動観察					
キャリア教育 の推進	項目 指標	キャリア教育推進体制を整備する。 全体計画を作成し、発達段階に応じて取り組んでいる。	教職員アンケート 行動観察	B	・県教委のキャリアノートを活用し、発達段階に応じた教育に取り組む。 ・担当者を中心に、キャリア教育の視点を明確にした全体計画・年間指導計画を作成する。	◎	◎	・要請があれば、社会の一員としての自覚や態度を養うという視点での地域の協力を惜しまない。 ・自己の将来を見つめ、学ぶことや働くことの意義や目的を見出すことは重要である。社会的自立に必要な力を伸ばしてほしい。
	項目 指標	社会の一員としての自覚や態度を養う。 全教育活動の中で、児童が役割と責任を果たせるように指導している。	教職員アンケート 行動観察					
	項目 指標	多様な体験活動を実施する。 各教科・領域において、人や社会と自分との関わりを気付かせるように工夫している。	教職員アンケート 行動観察					
基礎基本の 定着と個に 応じた学習 指導の徹底	項目 指標	確実に定着するまで個に応じて指導する。 新学習システム等を活用し児童が課題を克服している。	教職員・児童・保護者アンケート 評価テスト	A	・個別指導、ノート指導に重点を置いた指導を推進する。 ・問題解決学習を充実させる。 ・引き続き、「朝学習タイム」の内容をより充実させる。 ・改定した「家庭学習の手引き」の活用を呼びかけ、家庭での学習習慣定着の協力を得る。	◎	◎	・5分間増加した朝学習（15分）を今後も継続し、スモールステップで積み上げている点が良い。 ・全学年に同じ図書を与えて、感想を交流するなど読書内容を工夫している点が良い。 ・少人数のよさを生かして、どの子にもより学力をつけてほしい。
	項目 指標	指導と一体化した適切な評価活動を行う。 評価の観点に立った評価と児童の自己評価を適切に行っている。	教職員・児童・保護者アンケート 児童ノート等					
	項目 指標	体験的・問題解決的な学習を進める。 思考の軌跡・学習成果がノート等に表現されている。	教職員・児童・保護者アンケート 児童ノート等					
	項目 指標	保護者と協力し、家庭学習の定着を図る。 宿題がきちんと提出され、内容が充実している。	教職員・児童・保護者アンケート 児童ノート等					
道徳教育	項目 指標	全教育活動の中で道徳性を培う。 教育活動の全領域において道徳性を培うように計画している。	教職員・児童・保護者アンケート 授業記録簿	B	・道徳の授業の基本形を研修し、全員の指導力を向上させる。 ・道徳の時間のカリキュラムを実態に即して見直す。 ・学級集団や縦割りグループでの活動内容を検討するなど、全教育活動の中で道徳性を養う活動を展開する。	◎	◎	・道徳が「特別の教科」となることを受け、資料を使った道徳の時間の充実を一層図っていく。 ・昔は週の初めに学年全体で心の学習を必ず行っていた。時代は違っても、迷いつつよりよい生き方を選ぶ道徳的判断力を培う教育を重視して行ってほしい。
	項目 指標	道徳的心情・道徳的判断力を養う取組を進める。 道徳教育の要である道徳の時間に、児童の心に響く授業を心がけている。	教職員・児童・保護者アンケート 行動観察					
	項目 指標	※互いを認め合う仲間づくりを進める。 お互いのよさを認め合う仲間づくりをし、道徳的実践力を育成している。	教職員・児童・保護者アンケート 行動観察					
	項目 指標	資料を活用し道徳の時間の充実を図る。 副読本を計画的に活用したり、教材開発をしたりしている。	教職員・児童・保護者アンケート 授業記録簿					
総合的な学 習の時間	項目 指標	全体計画と年間指導計画を作成している。 学校全体を見通して学年に応じた特色ある活動計画になっている。	教職員アンケート 授業記録簿	A	・学習指導要領の趣旨に則し、地域や児童の実態から総合的な学習のカリキュラムを再編成する。 ・グローバル化・社会的自立等の課題に対応した横断的、総合的	◎	◎	・総合的な学習でどんな力を付けるのかを明確にし、地域の実態に合ったカリキュラムを充実させる。 ・今後も少人数の中ではあるが、「有年物語」が、有年地区の地域創生にまでつながる活動となるよう、そのよさを受け継ぐ取組の継続を希望する。
	項目 指標	各教科との関連を図った指導の展開をしている。 各教科で身につけた知識や技能を相互に関連づけ、学習や生活に生かして総合的に働くようにしている。	教職員アンケート 授業記録簿					
	項目	地域を学び、地域を誇りに思う心を育てる。	教職員・児童・保護者アンケート					

	指標	地域や児童の実態に応じた、特色ある活動や学習を行っている。	授業記録簿		な学習、探求的な学習を進める。
特別活動	項目 指標	自主的・実践的な活動を活性化している。 学級活動や係活動などを活性化させ、学級をより良くしようと諸問題の解決に努めている。	教職員・児童・保護者アンケート 学級経営報告	A	・学習指導要領の趣旨に則し、特別活動の校内研修を実施し、全員が指導力を向上させる。
	項目 指標	自発的・自治的な態度を育てる。 学級活動・行事・クラブ活動・委員会活動を活性化させ、仲間を思いやる行動を育てている。	教職員・児童・保護者アンケート 学級経営報告		
	項目 指標	異学年交流（有年つきようたい班活動）を計画的に実施する。 ふれあい協力する中で、認め励まし合う仲間づくりができています。	教職員・児童・保護者アンケート 学級経営報告		
特別支援教育	項目 指標	一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育を充実させる。 児童個々の課題を明確にして、指導計画・支援計画に沿って指導している。	教職員アンケート 授業記録簿	A	・保護者の願いに沿う、「合理的配慮」の事例を研修する等、校内委員会と指導体制の充実を図る。 ・全教職員が通常学級における特別支援教育の指導力を身につける。
	項目 指標	適切な就学指導を行う。 校内委員会を設置し関係機関と連携して、適切な就学指導に努めている。	教職員アンケート 校内委員会記録		
	項目 指標	指導方法や指導体制の充実を図る。 校内委員会・特別支援教育研修を充実させている。	教職員アンケート 校内委員会記録		
人権教育	項目 指標	人権尊重の精神を育成する。 ※命と人権を守り、いじめや不登校の未然防止・早期発見・早期解決に努めている。	教職員・児童・保護者アンケート 学級経営報告	A	・各種校内委員会、研修会により人権に配慮した学習環境について具体的に理解を深め、実行する。 ・定期的な点検により意識の高揚を図り、環境を整える。
	項目 指標	推進体制を整備する。 人権を大切にしたい教育活動を各領域の中に位置づけている。	教職員アンケート 学級経営報告		
	項目 指標	自尊感情を育てる。 教育活動の中で自尊感情を育て、目標に向かって努力する児童の育成に努めている。	教職員・児童・保護者アンケート 行動観察		
	項目 指標	人権に配慮した環境を整える。 人権教育推進上の配慮事項を実行している。	教職員アンケート 環境点検		
体験活動 ・自然学校 ・環境体験	項目 指標	児童の主体性を生かした自然学校・環境体験事業を実施している。 児童が主体的に活動に取り組むことができるように計画している。	教職員・児童・保護者アンケート 授業記録簿	A	・該当学年だけでなく、全校で成果と課題をその都度共有する。 ・事前・事後指導の工夫や他教科と関係づけた指導計画の改善に努める。
	項目 指標	自然学校等での体験をその後の生活に生かす工夫をしている。 自他の理解を深め、よりよい集団をつくらうとする指導に取り組んでいる。	教職員アンケート 授業記録簿		
	項目 指標	環境教育を計画的に推進している。 環境を守るうとする態度と命を大切にす態度を育てている。	教職員・児童・保護者アンケート 学級経営報告		
防災教育	項目 指標	防災教育・安全教育を計画的に実施する。 総合的な学習の時間・学級活動・防災訓練などで防災の意義を理解させ意識を高めている。	教職員・児童・保護者アンケート 行動観察	B	・本年度実施した保護者参加型の親子学習のように、今後も実態に応じた授業内容を検討する。 ・合同運動会では、種目に地域を巻き込んだ防災訓練を取り入れる。
	項目 指標	教員の防災教育に係る指導力・実践力の向上を図っている。 自然・人的危機などさまざまな緊急事態に冷静に対応できるように研修している。	教職員アンケート 研修記録		
	項目 指標	家庭・地域と連携して児童の安心安全を確保する。 校外児童会や地区懇談会で点検し、防犯体制づくりをしている。	教職員・児童・保護者アンケート 行動観察		
福祉教育	項目 指標	共生の心を育てる指導を計画的に実施している。 高齢者や障がいのある人などへの理解を深める指導に取り組んでいる。	教職員・児童・保護者アンケート 行動観察	A	・福祉関連の図書を購入し、福祉学習に適した環境を整える。 ・年間計画及び活動内容を再考し、より充実させる。
	項目 指標	児童の心に響く福祉体験や高齢者交流を行う。 児童の行動や態度に変容が見られる。	教職員・児童・保護者アンケート 行動観察		
情報教育	項目 指標	学校教育全体で体系化した情報教育を推進する。 情報教育に関する全体計画を作成し、指導の充実に取り組んでいる。	教職員アンケート 授業記録簿	B	・ネット犯罪・情報モラルに関する研修を、教師、保護者、児童対象で実施し、絶えず情報リテラシーの向上を図る。
	項目 指標	情報モラルを育成する。 ※保護者や関係機関と連携してネットリテラシーについて指導している。	教職員・児童・保護者アンケート 授業記録簿		

※＝第三者委員会提言を受けた内容    項目＝達成度が比較的低い項目

◎	◎	・児童数が減る中、クラブ活動・委員会活動の組織が困難になりつつあるが、児童主体の活動としての趣旨を踏まえて、実施方法を工夫するとよい。 ・クラブ活動において地域のゲートボールクラブとの連携を継続する。
◎	◎	・地域の高齢者には、特別支援教育が「特殊教育」と呼ばれていた時代の認識が残っている。保護者層もその影響を受けている。今最も大切にしている教育であり、児童一人一人の人権に根ざす教育であることの啓発を進める。
◎	◎	・意図的に自治的・自主的活動を仕組む中で、心ない言葉や行動、呼び捨て等があればその場を見逃さず適切に指導する。 ・教師自身が人権意識・態度の定期的な点検を通して、一人一人が大切にされる学校づくりを図る。 ・家庭との連携を深めたり授業を工夫したりして、自尊感情を高める取組を進める。
◎	◎	・事前指導でめあて意識をもたせ、事後指導で発見や学びをまとめさせるなど、体験活動の教育的意義を踏まえた実践を充実させる。 ・森林学習の支援をはじめ、地域の高齢者には得意なことをもっての方が多くいるので、自治会、老人会に気軽に声を掛けてほしい。
◎	◎	・保護者参加型の防災授業がよかった。今後も実態に応じた内容を検討し、継続するとよい。 ・合同運動会で、地域を巻き込んだ各防災訓練を毎年実施してはどうか。
◎	◎	・地域の高齢者宛に児童が行事の招待状を出してくれることを、独居老人は大変喜びに感じている。継続を望む。
◎	◎	・児童、保護者等を対象に実施したネット犯罪防犯教室等の研修を今後も継続し、意識の向上を図ってほしい。 ・地域に対しては、情報リテラシーとは何かというところから啓発を図る必要がある。

自己評価における特記事項

・特記事項なし
---------

項目以外の点での来年度の課題や具体的改善方法

<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童・保護者アンケートにおいてCやDに評価をつけた児童・保護者の思いを丁寧に聞き取り、その思いを原点として教育実践を広げていく。</li> <li>・全教育活動を通して、少人数の長所を活かし、短所を補う教育活動を展開できるよう取り組む。</li> <li>・定時退勤日等、勤務時間の適正化を今後も継続して取り組み、教職員が心身ともに健康で、余裕を持って教育に当たることが有年小全体の教育力の向上に繋がる。</li> </ul>
---